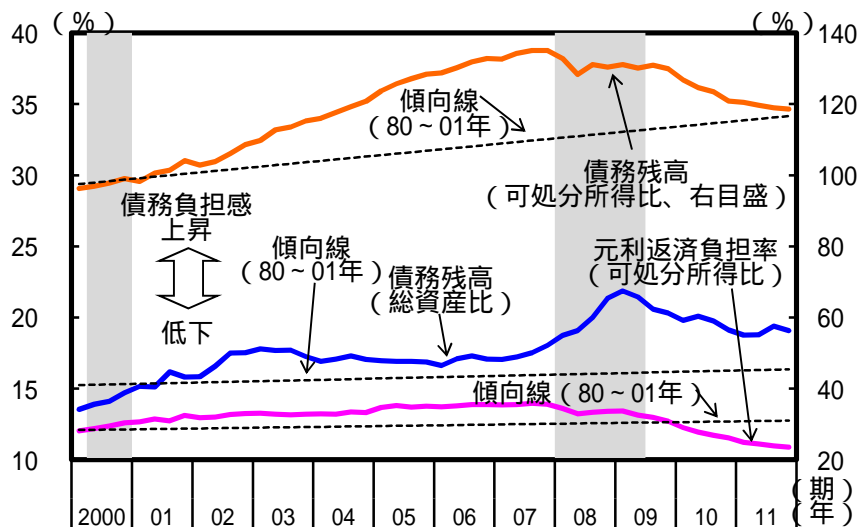
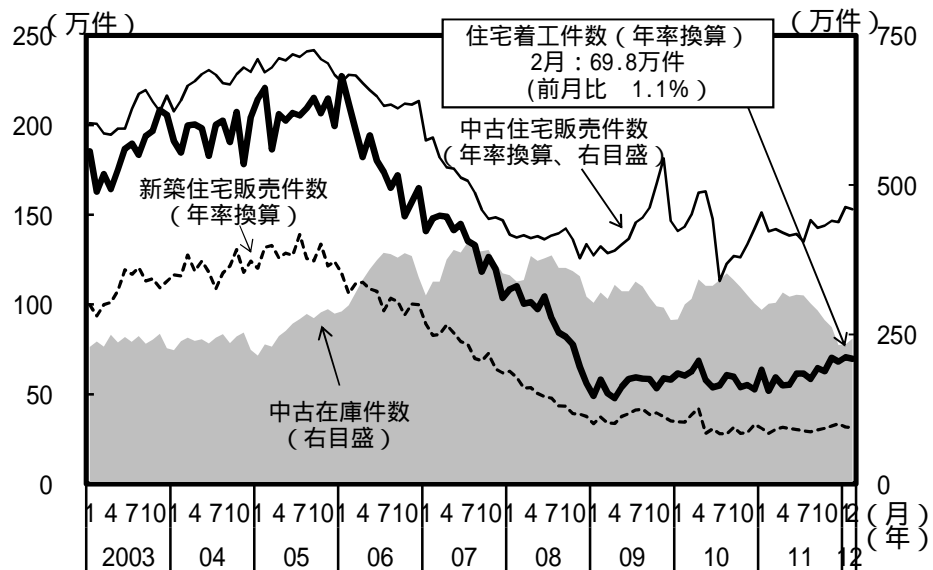


家計のバランスシート調整は継続



- (備考) 1. アメリカ商務省、連邦準備制度理事会 (F R B) より作成。
 2. 網掛け部分は景気後退期を指す。
 3. 「元利返済負担」は、住宅ローン及び消費者ローンの返済負担を示す。

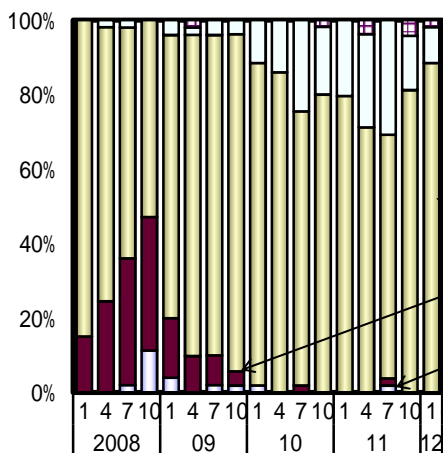
住宅着工は低水準にあるものの、持ち直しに向けた動き



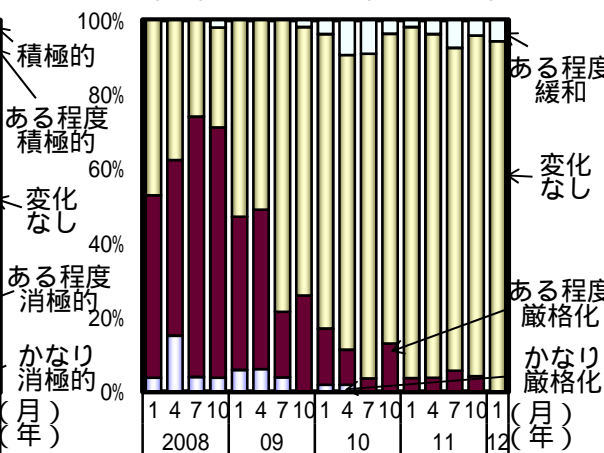
(備考) アメリカ商務省、全米不動産業者協会 (N A R) より作成。

金融機関の貸出態度は依然として厳しい

(1) 消費者向けローン

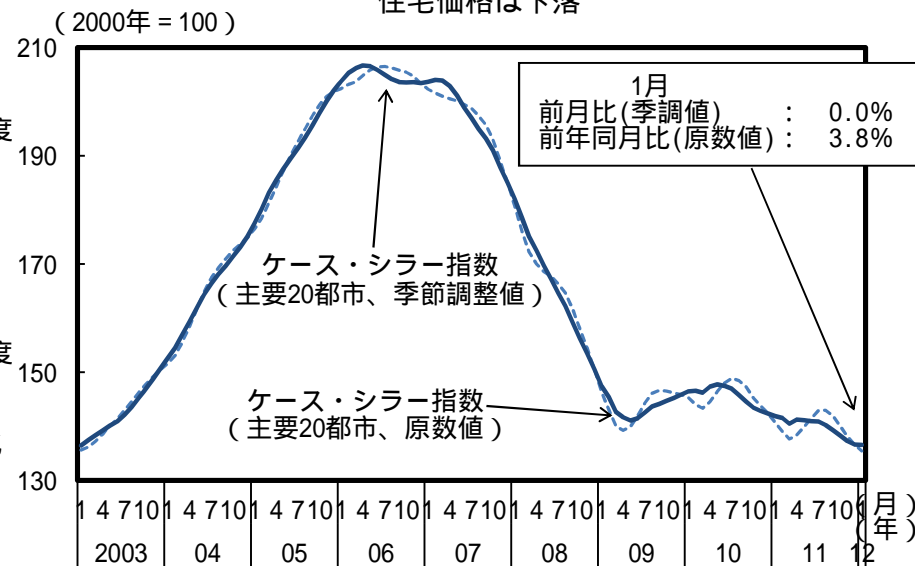


(2) 住宅ローン(プライム)



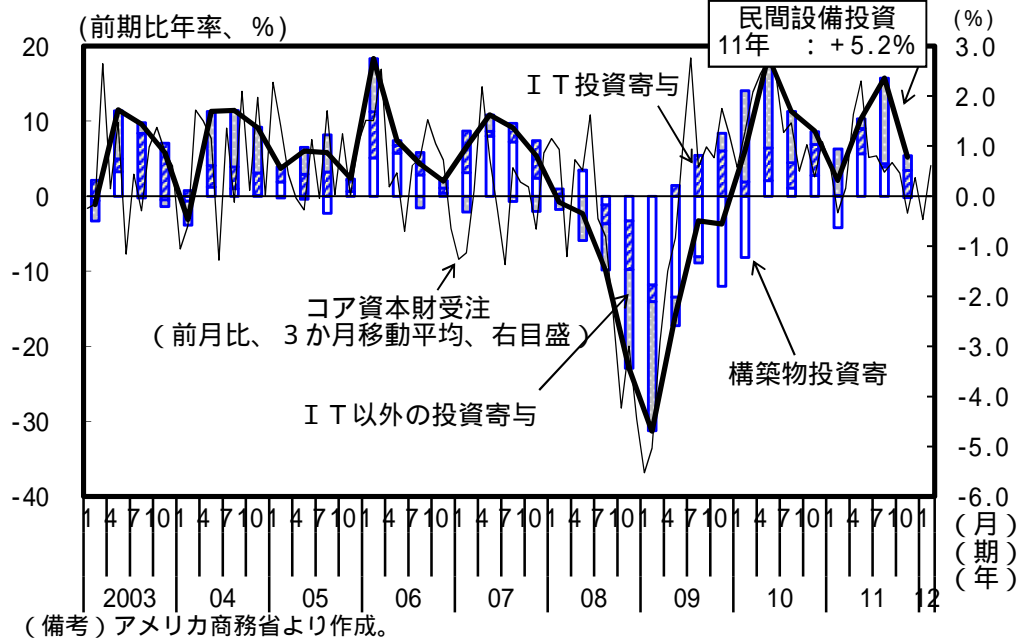
- (備考) 1. 連邦準備制度理事会 (F R B) より作成。
 2. 金融機関に対し、(1) 過去3か月間で消費者向けローンに対する貸出態度をどのように変化させたか、(2) 住宅ローン(プライム)の申請に対する貸出基準をどのように変化させたか、それぞれアンケート調査を行ったもの。

住宅価格は下落

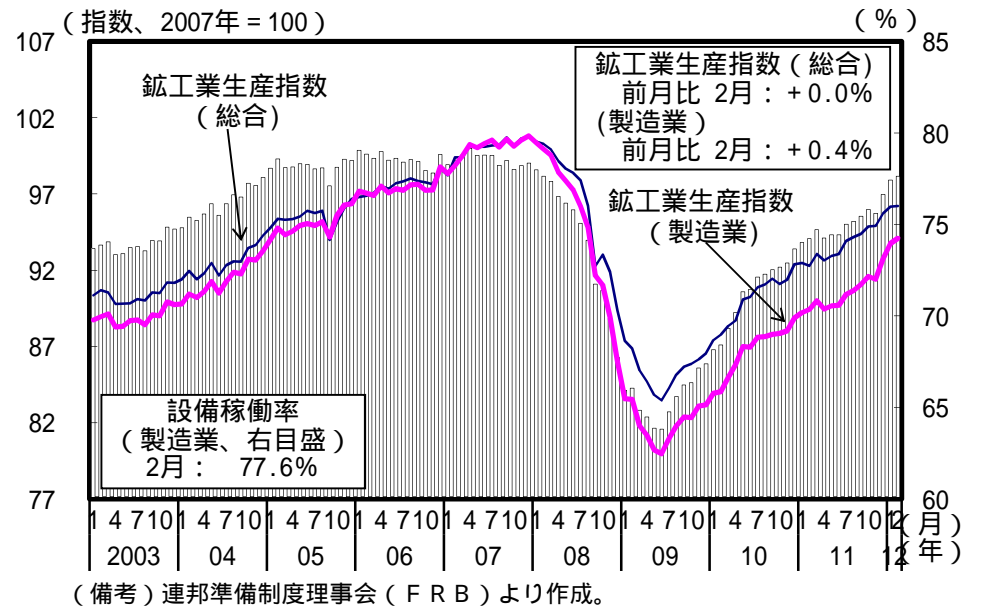


(備考) スタンダード・アンド・プアーズより作成。

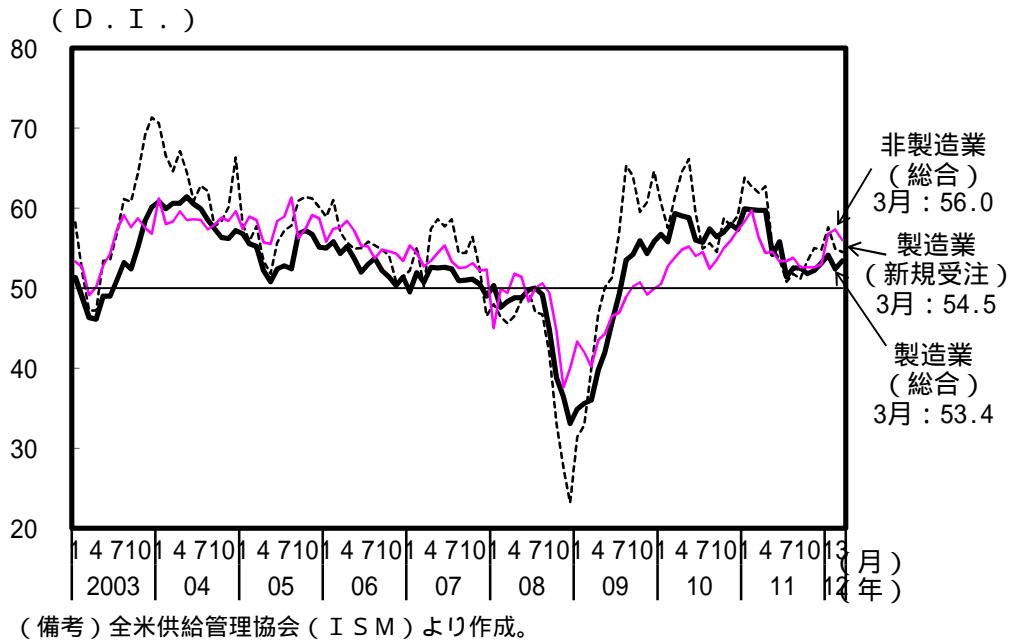
設備投資は増加のテンポが緩やかに



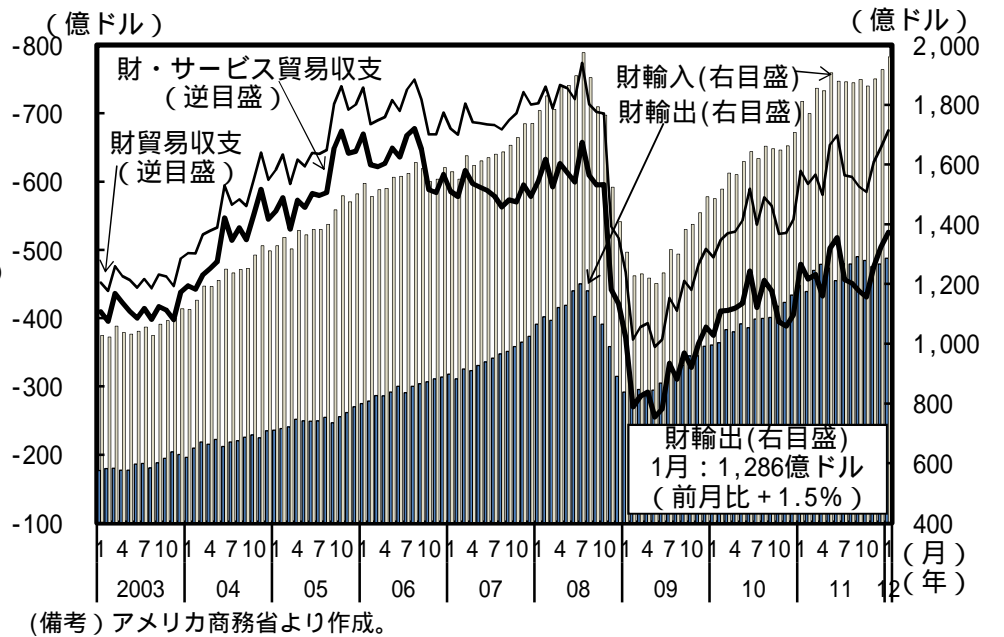
生産は緩やかに増加



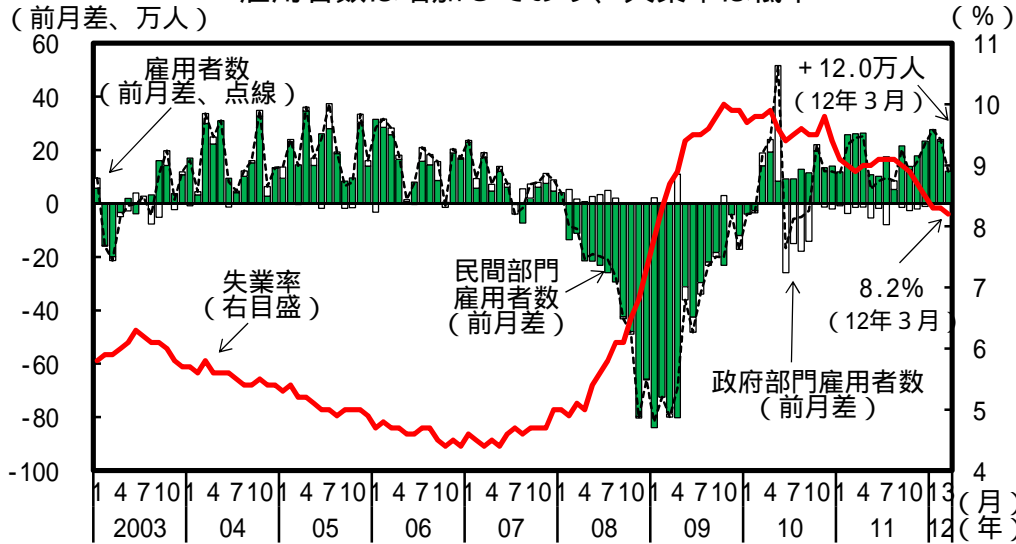
景況指数は持ち直し



財輸出は緩やかに増加

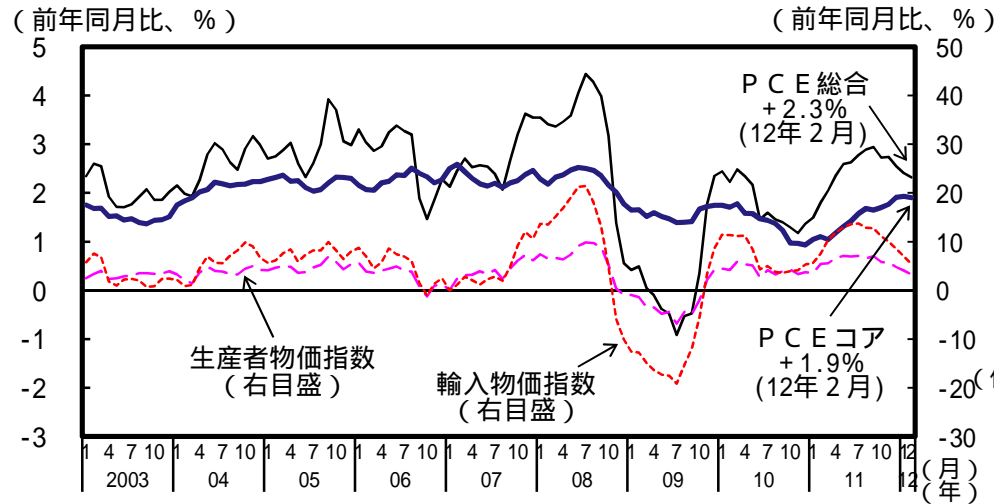


雇用者数は増加しており、失業率は低下



(備考) 1. アメリカ労働省より作成。雇用者数は非農業部門。
 2. 2008～09年の雇用者数の増減は 866.3万人、10年以降の雇用者数の増減は +350.2万人。

コア物価上昇率は落ち着きが見られる



(備考) 1. アメリカ労働省、商務省より作成。
 2. コア指数は、総合指数からエネルギーと食品を除いた指数である。

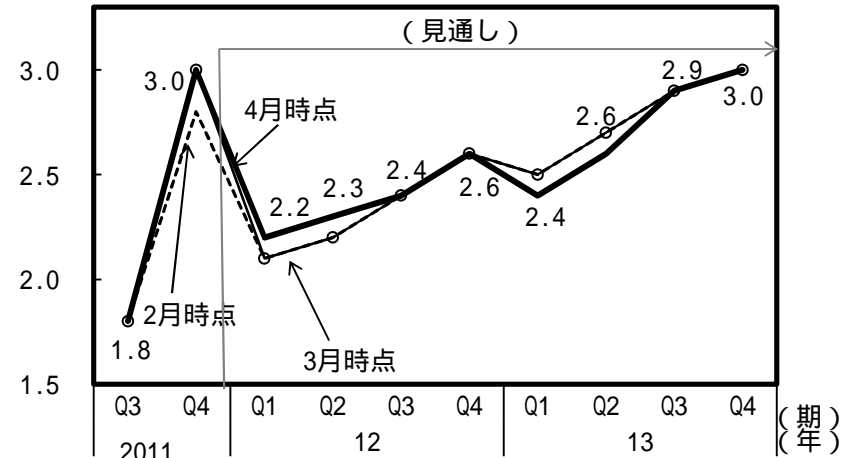
主要機関等による実質経済成長率の見通し

		(前年比、%)	
		12年	13年
ブルーチップ (民間見通し平均) (11年4月10日)	上位10社	2.6 (2.6)	3.1 (3.1)
	平均	2.3 (2.3)	2.6 (2.6)
	下位10社	2.1 (1.9)	2.1 (2.0)

		(前年比、%)	
		12年	13年
OECD (11年11月28日)		2.0	2.5
IMF (12年1月24日)		1.8	2.2
行政管理予算局 (OMB) (12年2月13日)		2.7	3.0
議会予算局 (CBO) (12年1月31日)		2.2	1.0
連邦公開市場委員会 (FOMC) (12年1月25日)		2.2~2.7 (10~12月期の前年同期比)	2.8~3.2 (同左)

ブルーチップ 4月

(前期比年率、%)



(備考) 1. ブルーチップ・インディケーター (12年4月10日号、3月10日号、2月10日号)、OECD “Economic Outlook 90” (11年11月28日)、IMF “World Economic Outlook” (12年1月24日)、アメリカ行政管理予算局 (12年2月13日)、アメリカ議会予算局 (12年1月31日)、連邦公開市場委員会 (12年1月25日) より作成。
 2. ブルーチップのカッコ内は、12年3月10日時点の見通し。
 3. 3月時点の四半期の見通しは、2月時点の見通しから変更がない。